２０２２年度事業報告書

Ⅰ　法人の概要

1　学校法人の沿革

昭和40年12月28日	学校法人第二静岡学園寄附行為認可・静岡学園高等学校設置認可
昭和41年 4月 1日	静岡学園高等学校開校、全寮制普通科、商業科開設
昭和46年 4月 1日	静岡学園高等学校理数科新設
昭和52年12月26日	静岡学園中学校設置認可
昭和53年 4月 1日	静岡学園中学校開校、理数科中・高一貫教育開始
昭和62年12月23日	静岡学園短期大学設置に係る寄附行為変更認可・静岡学園短期大学設置認可
昭和63年 4月 1日	静岡学園短期大学経営情報科・英語科開学
平成 5年12月21日	静岡産業大学設置に係る寄附行為変更認可・静岡産業大学設置認可
平成 6年 4月 1日	静岡産業大学経営学部経営環境学科開学
平成 7年 9月26日	静岡学園短期大学英語科名称変更に係る寄附行為変更認可
平成 8年 4月 1日	静岡学園短期大学英語科　英語コミュニケーション学科に名称変更
平成 9年12月19日	静岡産業大学国際情報学部設置に係る寄附行為変更認可 静岡産業大学国際情報学部設置認可
平成10年 4月 1日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科開設
平成11年12月22日	静岡学園短期大学廃止に係る寄附行為変更認可・静岡学園短期大学廃止認可
平成12年 7月28日	静岡産業大学経営学部情報マネジメント学科設置認可
平成13年 4月 1日	静岡産業大学経営学部情報マネジメント学科開設 静岡産業大学国際情報学部教職課程（高校一種　英語・情報）開設
平成15年 4月 1日	静岡産業大学教職課程開設 経営学部　高校一種　公民・商業 国際情報学部　中学一種　英語　高校一種　英語・情報
平成16年 4月 1日	静岡産業大学国際情報学部学校図書館司書教諭課程・学芸員養成課程開設
平成16年 6月23日	静岡産業大学経営学部経営学科・スポーツ経営学科設置届出 情報学部情報デザイン学科・国際情報学科設置届出
平成17年 4月 1日	静岡産業大学経営学部経営学科・スポーツ経営学科開設 情報学部情報デザイン学科・国際情報学科開設 静岡産業大学情報学部教職課程（中学一種　英語、高校一種　英語・情報）開設 学校図書館司書教諭課程・学芸員養成課程開設
平成18年 4月 1日	静岡産業大学経営学部教職課程（中学一種・高校一種　保健体育）開設
平成21年 6月29日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科廃止届出 経営学部経営環境学科・情報マネジメント学科廃止届出
平成22年 3月 5日	静岡産業大学情報学部教職課程（中学一種　英語、高校一種　英語）廃止届出 学校図書館司書教諭課程・学芸員養成課程廃止届出
平成22年12月 1日	学校法人第二静岡学園寄附行為変更認可（法人名変更）
平成23年 3月 3日	学校法人第二静岡学園寄附行為変更認可（静岡学園高等学校教養科学科設置）
平成23年 4月 1日	学校法人新静岡学園に法人名変更 静岡学園高等学校教養科学科新設
平成23年 7月25日	静岡産業大学経営学部心理経営学科設置届出
平成24年 4月 1日	静岡産業大学経営学部心理経営学科開設
平成29年10月12日	学校法人新静岡学園寄附行為変更認可（収益事業）
令和 2年 4月27日	静岡産業大学スポーツ科学部スポーツ科学科設置届出
令和 3年 4月 1日	静岡産業大学スポーツ科学部スポーツ科学科開設 静岡産業大学スポーツ科学部教職課程（中学一種・高校一種　保健体育）開設

2 設置する学校、学部、学科等

静 岡 産 業 大 学　　経 営 学 部　　経営学科
（静岡県磐田市大原1572番地 1）　　スポーツ経営学科（磐田）
（静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号）　　心理経営学科

情 報 学 部　　情報デザイン学科
（静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号）　　国際情報学科

スポーツ科学部　　スポーツ科学科
（静岡県磐田市大原1572番地 1）

静岡学園高等学校　　全日制課程　　教養科学科
（静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地）

静岡学園中学校
（静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地）

3 各学校等の入学定員、現員数

（単位：人）

学校名	学部等名	学科名	入学定員	3 年 次 編入学定員	入学者数	収容定員	現員
静 岡 産 業 大 学	経 営 学 部	経 営 学 科	280	10	305	900	1,651
		ｽﾎﾟｰﾂ経営学科	－	－		400	
		心 理 経 営 学 科	70	－		360	
	情 報 学 部	情報ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	－	－	－	－	23
		国 際 情 報 学 科	－	－		－	
	スポーツ科学部	ｽﾎﾟｰﾂ科学科	120	－	122	240	229
	合 計		470	10	427	1,900	1,903
静岡学園高等学校	全 日 制 課 程	教 養 科 学 科	360		417	1,080	1,129
静 岡 学 園 中 学 校			90		98	270	287
法 人 合 計			920	10	942	3,250	3,319

（2022年5月1日現在）

4 役員、評議員に関する事項

【理 事】

理事長	三枝幸文
理事	大坪檀
理事	堀川知廣
理事	鈴木啓之
理事	澤野岳志
理事	鳴嶋吉彦
理事	髙橋和子
理事	佐野典秀
理事	戸上常司
理事	松浦康男
理事	林範夫
理事	丹羽由一
理事	岩崎清悟
理事	鷲崎早雄

【監 事】

監事	鈴木善彦
監事	大橋慶士

【評議員】

評議員	高木昭三
評議員	江﨑晴城
評議員	杉村征郎

他 26人

（2023年3月31日現在）

【役員賠償責任保険契約】

保険契約者：日本私立大学協会（団体契約）

（引受保険会社：東京海上日動（幹事）、三井住友海上、明治安田損害保険）

5 教職員に関する事項

（単位：人）

区分 / 部門	教員	職員	内訳			
			本務教員	本務職員	兼務教員	兼務職員
経営学部	102	70	49	55	53	15
情報学部	2	1	2	1		
スポーツ科学部	22	8	8	7	14	1
静岡学園高等学校	86	19	61	10	25	9
静岡学園中学校	23	1	17	1	6	
法人		3		2		1
計	235	102	137	76	98	26

（2022年5月1日現在）

Ⅱ 事業の概要

［主な教育・研究の概要］

1 法人

学生、生徒に優れた教育環境を提供し、社会の発展に寄与する有為な人材に育成するため、本学園では、学校経営の重点課題として「公器性の高い法人改革」「教職員の資質向上」「財政基盤の健全化」を掲げ、これらの実現に向けて取り組んでいます。

2022年度においては、次の施策を実施しました。

1. 健全な経営体質を維持するため、各設置校の中期計画に基づいて、具体的行動計画を作成して業務を推進しました。
2. 「人事基本理念」に基づき、「採用する人物像」に相応しい教職員の確保、「求める教職員・管理職像」に相応しい教職員の資質向上、働きがいと活力のある組織・職場づくりを実現するため、以下の取り組みを行いました。
   - ・大学教員対象：ラーニングメソッド研究会、研究発表大会
   - ・中高教員対象：①classiの新機能と使い方 ②レジリエンスについて ③第1回授業評価アンケート分析報告 ④大学入試での志願理由書の指導や面接指導のポイント・模試データの活用方法について ⑤第2回授業評価・学校評価アンケート分析報告 ⑥BLENDの操作方法について
   - ・県内大学7法人の事務局長を中心とした情報交換会への参加
   - ・教育・研究及び学校運営の強化・充実につながる優秀な人材確保（ 教・職員 16名 ）
   - ・教職員一人ひとりの健康管理サポート（ストレスチェックの実施）の継続
   - ・働き方改革を推進するため、社会保険労務士法人と委託契約を締結し、就業規則や給与制度、人事評価制度など、人事労務全般にわたる見直し作業の継続
3. 本学園の施設の現状把握を行い、優先すべき事項を総合的に判断し、施設の良好な維持、管理に努めました。

監事監査においては、本学園の業務の執行に関して、学校経営の健全性と効率性の観点から検証を行うとともに、教育の現状や研究活動の活性化への取り組み状況等、教学における監査を実施しました。また、理事長、学長、校長等幹部教職員に対して、経営方針や教育方針の達成度、教職員組織の取り組み、人材育成に関してヒアリングを実施しました。（ 延べ監査回数 24回 ）

2 静岡産業大学

【学内組織・教育体制等】

- 私立学校法の改正を受け、2020年度から2024年度までの5年間を対象とした中期計画と、より具体的な年度計画、さらに実施行動計画、スケジュールを落とし込んだアクションプランを作成し、「教育の質的転換に向けた教学マネジメントと改革」等を重要政策に位置付け、2021年度に策定した「学生個人ファイル」「授業科目のナンバリング」等の実践化により継続的な教育の質的向上を目指すなど、様々な取り組みを進めました。
- 教育研究、管理運営の現状を自己点検し、質的向上を図るため、2022年度 日本高等教育評価機構の認証評価を受審し、6項目優れた点として「認定」の評価を取得しました。
- 全国規模で収束が見えない状況にある新型コロナウィルス感染症の対策として、前年度に引き続き、検温、手指消毒、喚起の励行等の基本的な感染防止対策の徹底や環境整備による「3密」の回避を実施するとともに、学生や教職員等大学関係者の感染状況等の把握、その情報共有と注意喚起等を行い、キャンパス内の安全・安心の確保に努めました。
- 文部科学省通知に基づき、授業の実施方法に関する原則・方針を定め、ハイブリット型大学教育として、「対面授業」「オンライン授業」の割合を9：1で授業を実施しました。
- 大学での学び方について研究する「第12回ラーニングメソッド研究会」を開催し、「教育の質的転換に向けて」をテーマに、思考や関心などを要請する学びについての発表と意見交換を行いました。

・第17回全学研究発表大会を開催し、4名の教員が研究成果の発表を行いました。
・私立大学等改革総合支援事業において、プラットフォーム ふじのくに・地域大学コンソーシアムとして、「タイプ3（プラットフォーム形成）」が5年連続で選定されました。
・最先端の実践的教育を展開するために、産業界及び各種団体による寄付講座を15講座開講しました。（磐田キャンパス：磐田市、ヤマハ発動機、静岡県経済産業部（新産業集積課）、スズキ、ジュビロ磐田、浜松いわた信用金庫の6講座、藤枝キャンパス：藤枝市、藤枝商工会議所、藤枝ロータリークラブ、静岡銀行、中部電力、ブリヂストン、TOKAIグループ、静岡市、静岡県行政書士会の9講座）
・経営学部において、リーダーを育成するため、高校等での探究研究（課題研究）で学び得た力を生かし、自身で設定した地域課題や社会的問題などのテーマに基づき、プレゼンテーションを行う「探究プレゼン入試」を導入し、合格者には特待生資格を付与しました。
・新型コロナウィルス感染症の影響により、入国できず、自国での履修となっていた海外協定校からの留学生52名を受け入れることができました。
・3年次編入学生として厦門大学国際学院から 51名が入学しました。
・藤枝市内の企業と本学学生において、「新しいインターンシッププログラム開発」「大卒向け求人プログラム開発」のワークショップを「Biviキャン」にて実施しました。
・中小企業の経営者・人事担当者を対象としたセミナー「事業を強くする人材獲得に向けた勉強会」を「Biviキャン」にて実施しました。
　第一部　新しいインターンシップの解説と藤枝型インターンシップ「WINターンシップ」の開発経緯と概要
　第二部　パネルディスカッション「人を大切にする会社の新しい人材獲得方法について」
　参加者 25社31名
・両学部合同の学内企業ガイダンスを実施しました。
　参加企業 60社、参加学生 164名（2023年2月、3年生対象）
・地域社会に貢献し、公共の福祉の担い手をなる人材を育成するため、「公務員受験講座」を引き続き開講（オンライン）しました。
・カレッジスポーツと地域スポーツの推進並びに、強化スポーツクラブ内のガバナンス強化及びコンプライアンス推進に努めました。
　カレッジスポーツクラブ 18団体 492名

(1) 磐田キャンパス（経営学部、スポーツ科学部）

【学内組織・教育体制等】

・2021年4月に開設したスポーツ科学部では、初年度110名、2022年度123名の学生が入学し、最先端の設備を活用しながら、スポーツについての科学的根拠に基づく論理的な学びを実践しています。また、スポーツ科学部スポーツ科学科に設置した中学校教諭一種免許状（保健体育）課程及び高等学校教諭一種免許状（保健体育）課程では、54名の学生が教員を目指して必要な科目を履修しています。
・スポーツ科学部1年次の基礎ゼミナールでは、「スポーツを支える仕事とその魅力」をテーマにゲストスピーカーを招聘し、スポーツ科学部での学び、スポーツを「する」「みる」「ささえる」「知る」の一端を学ぶ機会を設けました。
・スポーツ科学部のリーダーを育成するため、自身で設定したスポーツ競技や運動の技術・やり方等のテーマに基づき、技術・方法の実演や資料を用いたプレゼンで選考を行う「スポーツプレゼンテーション入試」を実施しました。
・2022年度実施 公立教員採用試験において 12年連続の合格者（10名）を輩出しました。
　静岡県7名（高等学校商業2名、中学校保健体育2名、特別支援学校中学部1名）
　静岡県外3名（中学校保健体育1名、小学校1名、特別支援学校中学部1名）
・保育士養成課程の第5期生8名が国家資格である「保育士資格」を取得しました。
・早い時期からの就職活動への意識付けを促す取り組みとして、基礎ゼミで キャリア支援課ツアー及びキャリア・ガイダンスを実施しました。
・難関資格に挑む学生を応援する「資格取得奨励金」を、小学校二種免許状等、2名に支給しました。

・2022年度実施 公務員採用試験において 13名の合格者を輩出しました。
　静岡地方検察庁、静岡県庁、森町役場、浜松消防局、静岡県警察、石川県警察、千葉県警察、富山県警察、宮崎県警察、名古屋拘置所、防衛省・自衛隊（一般候補生）
・学部開催の学内企業ガイダンスを実施しました。
　参加企業 4社、3年生必修授業にてオンライン実施（2022年11月、3年生対象）
・市民や学生を対象とした資格講座（宅地建物取引士、MOSWord、MOSExcel、ファイナンシャル・プランニング3級の4講座）を開講し、92名（うち本学学生53名）が受講しました。
また、第29回公開講座は99名（うち本学学生15名）、社会人リカレント講座は114名、第24回パソコン講座は58名が受講しました。
・地域協力団体との連携強化を図るため、2016年に設立した「いわた総合スポーツクラブ」では、コロナ禍による活動制限がある中、感染防止対策を徹底し、幼児から高校生までを対象としたスポーツクラブ（種目：体操、サッカー、トランポリン、柔道、プレスクール）に 453名の参加を得て活動を行いました。
・3年ぶりに対面式での開催となった大学祭「蒼樹祭」では、3組の演奏披露やスポーツフェスティバルを企画し、約500名が来場しました。
・「スポーツ医科学研究センター」主催による「女性スポーツの現状・魅力・課題」「スポーツ医科学を学んだ先にあるスポーツを仕事にするということ」をテーマに、「SSUスポーツ・健康科学セミナー」をオンラインで2回開催しました。
・「保育研究センター」主催による「多様な子どもの保育」をテーマに、「保育研究セミナー」を対面とオンラインの両方式で開催しました。
【施設・設備関連】
・第2スポーツセンターの空調設備の新設及び更新を行ったほか、災害時を想定した非常用発電機及びLPガス災害バルクを設置し、経済産業省「災害時に備えた社会的重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業補助金」を受給しました。
・開学時より使用し、老朽化した3号館（1～4階01・02教室）の机・椅子を一新しました。
・学生が安心して競技に専念できるよう第3ポーツセンター体操競技ピットを更新しました。
・パソコン教室（2205）のパソコン43台を高機能、高性能のモデルに更新しました。

(2) 藤枝キャンパス（情報学部、経営学部）
【学内組織・教育体制等】
・地方自治体等の地域課題解決事業として、静岡市など県中部5市2町（4件）、藤枝市（1件）、ふじのくに地域大学コンソーシアム（ゼミ学生2件）が採択されました。
・難関資格に挑む学生を応援する「資格取得奨励金」を、税理士科目（財務諸表論）、宅地建物取引士、全経簿記上級、基本情報技術者等の合格者7名に支給しました。
・2022年度実施 公務員採用試験において 5名の合格者を輩出しました。
　焼津市役所、掛川市役所、防衛省・自衛隊（幹部候補生、一般候補生、自衛官候補生）
・学部開催の学内企業ガイダンスを実施しました。
　参加企業　4社、3年生必修授業にてオンライン実施（2022年12月、3年生対象）
・「日本語教育研究センター」の主催による「俳句コンテスト」を実施し、全国から1,430名（一般の部604名、学生の部826名）の応募がありました。
・市民や学生を対象とした資格講座（宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランニング2,3級、秘書 2,3級、電子会計 2,3級、色彩検定 2級、ITパスポートの9講座を開講し、103名（うち本学学生49名）が受講しました。また、藤枝市より「藤枝市民大学」の実施運営事業を受託し、一般教養コース6講座201名、地域学講座6講座177名、リカレント教育コース12講座11名、資格取得コース1講座22名の計25講座350名が受講しました。
・藤枝市や地元企業などと連携し、これからの時代に必要とされる能力を身につけた人材の育成を目的に、革新的人材育成事業「bizneo（ビズネオ）プロジェクト」を「Biviキャン」にて実施し、本学の1年生 19名、2年生16名、3年生15名の計50名が参加しました。
・3年ぶりに一般開放での開催となった大学祭「鳳翔祭」では、体育館ステージでのラジオ番組「ふくわうち」の公開放送などを企画し、2日間で723名が来場しました。

【施設・設備関連】
・ 経年劣化のため、1号館2～4階の一部の講義室の空調設備を更新しました。
・ 安全を考慮し、老朽化した1号館エレベーターのリニューアルを行いました。
・ 後援会の支援を受け、学生等への情報発信のために、正面玄関にデジタルサイネージ（モニター4台）を設置しました。
・ パソコン教室（1306）のパソコン41台を高機能、高性能のモデルに更新しました。

3 静岡学園中学校・高等学校

【校内組織・教育体制等】
・ コロナ禍の中、感染や隔離により登校できない生徒にはハイブリッド授業を実施しました。
・ 教養科学科のこれまでの成果と課題を分析するため、中長期計画策定委員会による改善、修正が進められ、課題別のワーキンググループを設置し、「教育課程・カリキュラム」「探究活動・緑風塾・レジリエンス」「中高一貫」「同窓会活動」「視聴覚機器」「ジェンダーフリー・制服」についての検討を行いました。
・ 全教員対象の研修を5回、外部講師による授業評価・検討や子どものレジリエンス講座、ICT支援アプリの研修等を行い、教員のスキルアップを行いました。
・「自主・自律の精神」「共生の精神」「真理と生命を尊ぶ精神」「進取の精神」の教育理念に基づき、10年後・20年後、地域や世界に貢献し、真のエリート・リーダーとして未来を創造する人材を育てるため、以下の6つのプログラムを推進しました。

① SHIZUGAKU GOLDEN TIME（SGT 正規時間割以外に行う大学や企業の専門家の講義、地域の方々から学ぶ地域学、受験対策などの学びの時間）
・ 教員による特色ある講座、3年生中心の補習系講座のほか、大学教員、裁判官、元プロカメラマン、プログラマー、工芸家などの外部講師による多種多様な講座を開講しました。
また、安倍川奥の棚田における「農業体験～棚田で遊ぼう」などの講座も引き続き開講しました。
・ 第57回開校記念式では、社会学者で東京大学名誉教授、フェミニズム研究の第一人者でもある上野千鶴子氏による記念講演を開催しました。

② 全校ボランティア活動（社会貢献の喜びを中高生の時に体験）
・ ボランティア活動は、2月のトルコ地震発生後、生徒会を中心に、全校の募金を早期に行いました。

③ インターナショナルプログラム（多様な文化や価値観を理解する資質とコミュニケーション能力を養う）
・ 英語の授業に、オンラインによる英会話を取り入れ、各生徒8回実施しました。
・ コロナ禍で実施が難しい中、3月にニュージーランドの高校への優秀生徒語学研修は実施しました。

④ 地域共生活動（地域の方々に誇りに思ってもらえる学校づくり）
・「静岡学園と地域の共生を考える会」は町内会との協議の結果、必要な時に随時開催することとなりました。

⑤ 総合的学習の時間「緑風塾」（問題意識や課題を持ち、学ぶ意義や人生の意味を理解）
・ 高校1年生と2年生は、各学年で5、6名程度のグループをつくり、自らが課題を見つけ、解決策をプレゼン発表していく中で、「主体的、対話的で深い学び」を実践しました。

⑥ 日本の伝統文化継承プログラム（わが国の伝統・文化を身近に体験、日本人としての誇りと自覚を持つ）
・ 中学生の将棋・囲碁・かるたの和文化体験、礼法を含めたお茶会を実施しました。

・ 中学では、ハワイへの修学旅行に代わる奈良京都を中心とした関西方面研修となりました。茅野での農村交流、車山・八ヶ岳自然学校での冬の自然体験や、広島での平和学習を実施しました。
英語学習において、読む・聞く・書く・話すの4領域の力の獲得に重点を置くイングリッシュ・キャンプを12月に開催しました。また、中学1年、2年が地域企業と連携して探求型活動を行う「シズクリプロジェクト」に参加しました。

・防災対策として避難訓練、防災訓練を実施し、非常時の対応を学びました。
・大学合格者数は、国公立 62名、私立大では早慶上理関関同立GMARCH医の難関私大102名となり、私立の医学科に4名が合格しました。
・部活動では、多くの大会が実施されるようになり、高校では卓球部が全国高校総体5位、柔道部では個人1名が全国高校総体3位となりました。
中学では、サッカー部が全国中学校サッカー大会準優勝、柔道部の個人2名は全国中学校柔道選手権において3位という成績を残しました。
・静学祭は、在校生徒のほか、発表・展示に関わる生徒の保護者及びPTA役員を入場する形での文化部のステージ発表・展示のほか、クラスごとの展示を行いました。
・体験入学や入試説明会は入場制限を行いつつ実施し、約2,000人に参加していただきました。
・本校オリジナル「静岡学園中学校・高等学校図書館図書100選」、中学生用「私の作る読書ノート」および新聞を用いた探究活動を記録する「教養科学の樹」を配布しました。
【施設・設備関連】
・クラス数及び授業等教育活動展開において、普通教室の不足が見込まれるため、教育棟東側2～4階に新たに3教室を、図書館棟3階に特別教室1室を増設しました。
・課外活動で主に利用するマイクロバス2台を追加購入しました。

［中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況］

建学の精神（孝友三心（服する心、感謝する心、全うする心））を教学の基本理念に掲げ、各設置校において、人間教育を実践しています。
学校法人及び各設置校は、以下の基本戦略、重点政策を掲げた中期計画（2020年度～2024年度）及び事業計画に沿って、上記掲出の主な教育・研究の概要のとおり遂行しました。
（学校法人新静岡学園）
Ⅰ 財務体質の強化「教育力の向上と地域の信頼による入学者確保」
Ⅱ ガバナンス体制「監査機能の実質化、内部統制体制と内部監査体制の確立」
Ⅲ 人事「資質向上と意識改革」
Ⅳ 給与制度の再構築「定年制度、給与制度等の検討」
Ⅴ ファシリティマネジメント「投資効果による長期的視点での施設整備計画の作成」
Ⅵ 危機管理及び法令順守「危機管理体制の拡充」
Ⅶ 外部要因を視野に入れた発展戦略の策定
（静岡産業大学）
Ⅰ 教育の質的転換とその実質化
Ⅱ 大学改革事業推進のための財務基盤の確立
Ⅲ 中期計画の着実な遂行のための組織ガバナンスの強化
（静岡学園中学校・高等学校）
Ⅰ 教育内容とその充実
Ⅱ 入学者の質（学力）と定員の確保
Ⅲ 大学進学実績の向上
Ⅳ 生徒・保護者の満足度の向上
Ⅴ 教員の質と定数の適正化
Ⅵ 施設・設備の充実
Ⅶ 財務状況の改善

4 主な事業の実績

(1) 事業活動収支事業

（単位：千円）

事　業　名	所管部署	予算	実績	主 な 実 績
(磐田キャンパス(経営学部・ｽﾎﾟｰﾂ科学部))				
教員研究事業	総務課	15,693	15,163	個人研究費、特別研究支援経費(9件)
施設・設備一般管理事業	〃	106,823	106,774	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	10,610	8,548	第2号館3階大講義室、一般修繕費用
教務管理事業	教務課	12,401	9,235	授業用消耗品、ｼﾗﾊﾞｽ等印刷費、ｼﾞｪﾈﾘｯｸｽｷﾙ測定ﾃｽﾄ費用 他
寄付講座実施事業	〃	341	207	6講座
学生課外活動等支援事業	学生支援課	14,135	12,127	部会 23団体、愛好団体 17団体の活動支援
奨学支援事業	〃	158,711	149,586	特待生授業料減免、修学支援新制度、学びの継続支援事業
学生支援課運営事業	〃	2,746	1,084	留学生支援、国際交流推進 他
就職支援事業	ｷｬﾘｱ支援課	14,374	11,716	面接指導、ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ授業、ｷｬﾘﾀｽUC委託 他
公務員試験対策講座事業	〃	2,926	2,886	講師委託費 年間198ｺﾏ @12,000
図書館管理運営事業	図書館課	8,686	8,414	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ5件、和洋雑誌 108誌、新聞 11紙 他
大学自己点検・評価推進事業	大学事務局	2,844	2,646	認証評価料、評価機構等年会費 他
媒体広告事業	入試・広報室	39,923	39,617	進学情報誌・サイト、看板・交通広告、WEB広告、新聞広告、TVCM、SSU NEWS 他
大学案内・大学ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ事業	〃	14,575	13,568	大学案内企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
入学試験事業	〃	13,717	9,068	入試関連印刷費 他
説明会・ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ・高校訪問事業	〃	6,994	6,903	大学説明会3回、高校訪問814回、ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ206回参加
ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ事業	〃	3,265	2,939	10回(来学型4回うちｷｬﾝﾊﾟｽ見学会4回、WEB2回)
情報ｼｽﾃﾑ事業	情報ｼｽﾃﾑ課	23,398	20,638	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ整備、ｼｽﾃﾑ保守、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	3,915	3,855	事業実施、資格取得講座運営、教員ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ作成
入試広報管理運営事業	総合研究所(戦略推進担当)	11,106	9,104	bizneo(ﾋﾞｽﾞﾈｵ)ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ(1～3年生)、SDGs関係、情報収集・分析
ｽﾎﾟｰﾂ振興事業	ｽﾎﾟｰﾂ振興部	45,700	46,354	ｸﾗﾌﾞｺｰﾁ外部委託費・旅費交通費、ｸﾗﾌﾞｽｶｳﾄ活動費用 他
総合型地域ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ事業	〃	16,040	12,358	ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ運営費用、指導者研修費用 他
(藤枝キャンパス(情報学部・経営学部))				
教員研究事業	総務課	10,330	8,244	個人研究費、特別研究支援経費(4件)
地域課題解決事業	〃	2,100	1,349	藤枝市地域政策研究・創造事業、しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業
施設・設備一般管理事業	〃	59,174	53,037	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	6,909	4,337	防草シート張替修繕工事、一般修繕費用
ｻﾃﾗｲﾄｷｬﾝﾊﾟｽ事業	〃	13,034	13,018	藤枝駅前ｻﾃﾗｲﾄｷｬﾝﾊﾟｽ運営費用
教務管理事業	教務課	8,351	6,597	授業用消耗品、履修ｶﾞｲﾄﾞ等印刷費、ｼﾞｪﾈﾘｯｸｽｷﾙ測定ﾃｽﾄ費用 他
寄付講座実施事業	〃	300	223	9講座
学生課外活動等支援事業	学生支援課	5,723	4,943	ｸﾗﾌﾞ活動支援他
奨学支援事業	〃	170,246	147,000	特待生授業料減免、修学支援新制度、学びの継続支援事業
学生支援課運営事業	〃	4,457	4,384	ﾜｲｶﾄ大学ｶﾚｯｼﾞ派遣、海外協定校受入 他
就職支援事業	ｷｬﾘｱ支援課	9,272	7,898	合同企業ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ2回(企業64社)、ｷｬﾘｱ面談330名実施 他
公務員試験対策講座事業	〃	2,473	2,376	講師委託費 年間198ｺﾏ @12,000
図書館管理運営事業	図書館課	7,850	7,783	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ5件、和洋雑誌 101誌、新聞 11紙 他
美術館運営事業	〃	1,772	1,121	浦田周社木版画美術館管理運営費用
大学自己点検・評価推進事業	大学事務局	1,895	1,794	認証評価料、評価機構等年会費 他
媒体広告事業	入試・広報室	26,614	26,456	進学情報誌・サイト、看板・交通広告、WEB広告、新聞広告、TVCM、SSU NEWS 他
大学案内・大学ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ事業	〃	9,755	9,009	大学案内企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
入学試験事業	〃	8,901	7,489	入試関連印刷費 他
説明会・ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ・高校訪問事業	〃	4,913	4,845	大学説明会3回、高校訪問814回、ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ206回参加
ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ事業	〃	2,176	1,440	来学型を中心に9回開催(OC5回、ｷｬﾝﾊﾟｽ見学会4回)
情報ｼｽﾃﾑ事業	情報ｼｽﾃﾑ課	19,104	15,625	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ整備、ｼｽﾃﾑ保守、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	8,785	8,155	藤枝市民大学運営事業、資格取得講座運営 他
入試広報管理運営事業	総合研究所(戦略推進担当)	8,457	6,180	bizneo(ﾋﾞｽﾞﾈｵ)ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ(1～3年生)、SDGs関係、情報収集・分析
ｽﾎﾟｰﾂ振興事業	ｽﾎﾟｰﾂ振興部	5,720	3,772	ｸﾗﾌﾞｺｰﾁ外部委託費・旅費交通費、ｸﾗﾌﾞｽｶｳﾄ活動費用 他

（単位：千円）

事　業　名	所管部署	予算	実績	主 な 実 績
（高等学校）				
教職員研修事業	高校事務局	3,934	3,372	教員研修、外部評価委員会費用、学校評価等ｱﾝｹｰﾄ費用 他
施設・設備一般管理事業	〃	77,274	76,799	各種保守管理費、光熱水費、教育棟増築・図書館棟3階改修に伴う解体費 他
施設・設備等修繕事業	〃	5,437	3,587	一般修繕費用
奨学支援事業	〃	106,958	95,561	奨学生 新規113人、継続163人、入学金減免187人
全国大会出場支援事業	〃	16,588	9,453	全国大会出場旅費支援（体操、柔道、卓球）、ｻｯｶｰﾌﾟﾚﾐｱﾘｰｸﾞ旅費交通費、会場費
生徒募集事業	〃	17,305	15,332	入試説明会1回、体験入学3回、個別相談会7回 他
ICTｲﾝﾌﾗ整備事業	情報管理課	13,100	10,400	e教務使用料、教員用ipad通信費、ｼｽﾃﾑｻﾎﾟｰﾄﾍﾙﾌﾟﾃﾞｽｸ費用、LAN保守 他
国際交流事業	国際交流課	3,968	3,411	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ優秀生徒派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
SGT事業等 新教育に関する事業	教務課 他	1,078	701	講師謝礼・交通費、教材費 他
（中学校）				
施設・設備一般管理事業	中学事務局	10,291	9,781	各種保守管理費、光熱水費、火災保険料 他
奨学支援事業	〃	5,374	5,144	奨学生 新規6人、継続5人、入学金減免4人
全国大会出場支援事業	〃	2,243	2,168	全国大会出場旅費支援（ｻｯｶｰ、柔道、卓球）
生徒募集事業	〃	9,083	9,032	体験入学3回、個別相談会9回　他
ICTｲﾝﾌﾗ整備事業	情報管理課	14,607	12,311	e教務使用料、教員用ipad通信費、ｼｽﾃﾑｻﾎﾟｰﾄﾍﾙﾌﾟﾃﾞｽｸ費用、生徒用iPad220台 他
SGT事業等 新教育に関する事業	教務課 他	1,799	1,204	講師謝礼・交通費、教材費　他
（法人事務局）				
人事管理運営事業	総務課	9,802	9,230	採用経費、人事・給与ｼｽﾃﾑ保守費用、派遣職員委託費 他
法人研修事業	〃	2,333	1,160	事務職員合同研修会研修（ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ）委託費
理事会・評議員会等運営事業	〃	2,490	2,188	理事会3回、評議員会3回、常任理事会10回
会計事務管理事業	管理課	1,400	1,369	会計ｼｽﾃﾑ保守費用 他
各種ｼｽﾃﾑ再構築事業	〃	1,426	800	業務系ｻｰﾊﾞ運用ﾈｯﾄﾜｰｸ整備 他

(2) 施設整備等活動収支事業

（単位：千円）

事　業　名	所管部署	予算	実績	主 な 実 績
（磐田キャンパス（経営学部・ｽﾎﾟｰﾂ科学部））				
施設整備事業	総務課	162,514	148,294	第2SC空調設備更新・非常用発電機・災害ﾊﾞﾙｸ設置 他
3号館整備事業	教務課	31,318	28,356	3号館（1～4階01・02教室）机・椅子更新
情報関連設備整備事業	情報ｼｽﾃﾑ課	17,106	13,880	2205教室ﾊﾟｿｺﾝ更新、AV機器更改（3教室）
校用車更新事業	総務課	5,347	5,109	校用車2台更新
図書整備事業	図書館課	4,230	3,413	図書館情報管理ｼｽﾃﾑ（LIMEDIO）更新
（藤枝キャンパス（経営学部））				
施設整備事業	総務課	105,910	103,544	1号館空調設備更新、1号館ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ改修 他
情報関連設備整備事業	情報ｼｽﾃﾑ課	12,835	6,830	1306教室ﾊﾟｿｺﾝ更新、AV機器更改（2教室）
図書整備事業	図書館課	3,857	3,845	図書館情報管理ｼｽﾃﾑ（LIMEDIO）更新
（高等学校）				
教室整備事業	高校事務局	323,423	323,355	教育棟増築工事、図書館棟3階改修工事、生徒用机・椅子 他
車両整備事業	〃	11,587	11,524	ﾏｲｸﾛﾊﾞｽ2台購入、校用車1台更新
ICTｲﾝﾌﾗ整備事業	情報管理課	8,976	6,987	ﾈｯﾄﾜｰｸ拡幅工事、教育棟増築・図書館棟3階改修に伴うﾈｯﾄﾜｰｸ整備 他
学校ｸﾞﾗﾝﾄﾞ整備事業	高校事務局	1,485	1,463	防球ﾈｯﾄ補修工事、学校ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ外部照明取替工事
視聴覚備品等整備事業	教務課	792	624	教員室用ﾃﾞｽｸ・椅子
（中学校）				
ICTｲﾝﾌﾗ整備事業	情報管理課	2,070	1,329	ﾈｯﾄﾜｰｸ拡幅工事、iPad充電保管庫7台
教室整備事業	高校事務局	500	436	教育棟増築工事 陶芸窯小屋ｼｬｯﾀｰ交換

Ⅲ 財務の概要

1 資金収支について

○ 資金収支計算書の概要

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容と、その支払資金の収入・支出の顛末を 明らかにするものであります。

本法人の資金収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

なお、施設関係支出には、磐田キャンパスの第2スポーツセンター空調設備更新・非常用発電機設置・災害バルク設置工事、藤枝キャンパスの1号館空調設備更新工事及び1号館エレベーター改修工事、高校の教育棟増築工事及び図書館棟3階改修工事に係る費用を含んでおり、設備関係支出には、磐田キャンパスの教室用備品及び第3スポーツセンター体操競技用ピット、藤枝キャンパスのトレーニングルーム機器備品、高校の教育棟増築・図書館棟3階改修に伴う備品、マイクロバス取得に係る費用を含んでおります。

【収入の部】

（単位：千円）

科　目	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
学生生徒等納付金収入	2,749,924	2,652,651	2,532,274	2,476,548	2,521,121
手数料収入	71,158	74,080	73,045	78,233	75,857
寄付金収入	39,853	50,359	13,256	11,004	7,724
補助金収入	961,162	839,791	772,008	728,779	688,110
資産売却収入	816	0	0	0	84
付随事業・収益事業収入	52,435	91,086	42,773	51,433	52,769
受取利息・配当金収入	882	804	899	1,073	1,337
雑収入	161,581	172,633	110,590	182,510	110,487
前受金収入	318,289	339,612	376,638	379,193	372,941
その他の収入	327,173	262,298	255,305	223,808	159,781
資金収入調整勘定	△ 535,220	△ 582,539	△ 553,038	△ 528,840	△ 430,155
前年度繰越支払資金	2,853,345	2,595,326	2,478,952	2,567,343	2,830,994
収入の部合計	7,001,403	6,496,104	6,102,708	6,171,088	6,391,055

【支出の部】

科　目	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
人件費支出	2,016,770	2,008,013	1,942,978	2,191,303	2,041,978
退職金支出	127,222	121,220	74,097	186,456	54,444
教育研究経費支出	1,040,050	900,653	879,305	755,997	784,667
奨学費支出	396,910	348,465	354,128	215,635	200,586
管理経費支出	367,176	373,309	323,367	388,442	412,368
借入金等利息支出	0	89	373	665	951
借入金等返済支出	0	25,248	30,528	30,528	30,528
施設関係支出	531,162	170,085	193,027	89,207	284,072
設備関係支出	132,676	56,164	55,325	91,281	236,673
資産運用支出	101,005	84,914	64,189	76,441	84,086
その他の支出	111,724	114,635	128,506	188,243	121,190
資金支出調整勘定	△ 102,181	△ 90,356	△ 110,220	△ 119,976	△ 172,805
翌年度繰越支払資金	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952	2,567,343
支出の部合計	7,001,403	6,496,104	6,102,708	6,171,088	6,391,055

注）各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて 表示しています。

○ 活動区分資金収支計算書

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書に記載される資金収入及び資金出の決算額を「教育活動による資金収支」、「施設整備等の活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の活動ごとに区分して記載する計算書であります。

（単位：千円）

科　目	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,973,311	3,852,767	3,538,097	3,523,766	3,456,071
教育活動資金支出計	3,423,997	3,281,976	3,145,651	3,335,744	3,239,014
差引	549,314	570,790	392,445	188,022	217,056
調整勘定等	△ 4,256	△ 75,987	△ 9,048	△ 142,252	84,189
教育活動資金収支差額	545,057	494,803	383,397	45,769	301,246
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	63,621	27,835	5,853	25,218	84
施設整備等活動資金支出計	663,839	226,250	248,353	180,489	520,745
差引	△ 600,217	△ 198,415	△ 242,500	△ 155,271	△ 520,661
調整勘定等	9,949	△ 7,308	△ 12,077	9,795	△ 7,849
施設整備等活動資金収支差額	△ 590,268	△ 205,723	△ 254,577	△ 145,476	△ 528,510
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	△ 45,211	289,079	128,820	△ 99,707	△ 227,263
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	122,155	89,258	100,980	135,778	86,021
その他の活動資金支出計	127,270	120,318	109,022	128,867	122,408
差引	△ 5,115	△ 31,060	△ 8,041	6,911	△ 36,387
調整勘定等	0	0	△ 4,404	4,404	0
その他の活動資金収支差額	△ 5,115	△ 31,060	△ 12,446	11,315	△ 36,387
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 50,326	258,019	116,373	△ 88,391	△ 263,650
前年度繰越支払資金	2,853,345	2,595,326	2,478,952	2,567,343	2,830,994
翌年度繰越支払資金	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952	2,567,343

注）各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて 表示しています。

1-2 施設整備等活動(設備投資)関連収支について

限られた収入の中で、安定した財政基盤を維持しつつ、必要な施設整備を実施していくため、本法人では、投資する資金額に対応した財源の確保を目的として、各種資産の取得に関連する収支を抽出、整理して 管理しています。

本法人の固定資産(設備投資)関連収支の実績は、次のとおりであります。

なお、2022年度の施設設備寄付は、藤枝キャンパスの正面玄関デジタルサイネージ設置工事資金を、施設設備補助金は、磐田キャンパスの災害バルク補助金を含んでおり、建物には、磐田キャンパスの第2スポーツセンター空調設備更新・非常用発電機設置・災害バルク設置工事、藤枝キャンパスの1号館空調設備更新工事及び1号館エレベーター改修工事、高校の教育棟増築工事及び図書館棟3階改修工事に係る費用を、機器備品には、磐田キャンパスの教室用備品及び第3スポーツセンター体操競技用ピット、藤枝キャンパスのトレーニングルーム機器備品、高校の教育棟増築・図書館棟3階改修に伴う備品に係る費用を、車両には、高校のマイクロバス取得に係る費用を含んでおります。

【施設整備等活動収入】

(単位:千円)

科目	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
施設設備寄付金	12,805	20,160	5,853	3,000	0
現物寄付	7,386	5,158	5,018	19,717	20,878
施設設備補助金	50,000	7,675	0	1,743	0
当年度収支からの組入額	0	0	0	0	0
小計(1)	70,191	32,993	10,871	24,460	20,878
引当特定資産からの繰入	0	0	0	0	0
資産売却その他	816	0	0	0	84
小計(2)	71,007	32,993	10,871	24,460	20,962
留保資金からの充当額	600,685	224,803	273,825	206,984	552,540
収入合計	664,306	252,638	279,678	211,727	552,624

【施設整備等活動支出】

科目	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
借入金等返済	0	25,248	30,528	30,528	30,528
土地	0	0	0	26,789	0
建物	513,216	161,696	26,247	17,749	272,718
構築物	17,946	8,233	163,677	44,668	9,354
建設仮勘定	0	155	3,102	0	2,000
機器備品	104,206	50,384	40,519	85,062	215,649
図書	6,527	5,780	7,162	6,219	18,178
車両	21,942	0	7,643	0	2,844
その他	467	1,140	797	710	1,351
支出合計	664,306	252,638	279,678	211,727	552,624

注) 各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて 表示しています。

2 事業活動収支について

○ 事業活動収支計算書の概要

「事業活動収支計算書」は、学校法人の当該会計年度における教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動、の3つの活動区分ごとに、事業活動収入及び事業活動支出の内容と、その均衡状態を明らかにし、学校経営の健全性を維持するための指標であります。

本法人の事業活動収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

（単位：千円）

科　目			2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
教育活動収支	事業活動収入の部						
		学生生徒等納付金	2,749,924	2,652,651	2,532,274	2,476,548	2,521,121
		手数料	71,158	74,080	73,045	78,233	75,857
		寄付金	27,048	30,199	7,569	8,116	7,724
		経常費等補助金	911,162	832,116	772,008	727,036	688,110
		付随事業収入	52,435	91,086	42,773	51,433	52,769
		雑収入	161,581	172,633	110,590	182,510	110,487
		教育活動収入計	3,973,311	3,852,767	3,538,262	3,523,878	3,456,071
	事業活動支出の部						
		人件費	2,022,925	2,044,863	1,970,749	2,161,701	2,061,230
		教育研究経費	1,495,088	1,370,798	1,372,771	1,249,628	1,271,165
		減価償却額	454,631	470,145	493,390	493,518	486,498
		管理経費	424,530	431,281	381,867	445,877	467,543
		減価償却額	57,353	57,972	58,409	57,434	55,175
		徴収不能額等	0	0	311	5,508	0
		教育活動支出計	3,942,544	3,846,944	3,725,699	3,862,716	3,799,939
	教育活動収支差額		30,766	5,823	△ 187,437	△ 338,837	△ 343,868
教育活動外収支	事業活動収入の部						
		受取利息・配当金	882	804	899	1,073	1,337
		その他の教育活動外収入	300	275	100	0	0
		教育活動外収入計	1,182	1,079	999	1,073	1,337
	事業活動支出の部						
		借入金等利息	0	89	373	665	951
		教育活動外支出計	0	89	373	665	951
	教育活動外収支差額		1,182	990	626	408	386
経常収支差額			31,949	6,813	△ 186,810	△ 338,429	△ 343,482
特別収支	事業活動収入の部						
		資産売却差額	816	0	0	0	84
		その他の特別収入	70,191	32,993	10,871	24,460	20,878
		特別収入計	71,007	32,993	10,871	24,460	20,963
	事業活動支出の部						
		資産処分差額	9,376	1,546	10,442	1,845	1,184
		特別支出計	9,376	1,546	10,442	1,845	1,184
	特別収支差額		61,630	31,446	428	22,615	19,778
基本金組入前当年度収支差額			93,580	38,260	△ 186,381	△ 315,814	△ 323,703
基本金組入額			△ 627,773	△ 202,034	△ 63,264	△ 202,398	△ 593,719
当年度収支差額			△ 534,192	△ 163,774	△ 249,645	△ 518,212	△ 917,422
前年度繰越収支差額			△ 5,823,830	△ 5,660,056	△ 5,414,111	△ 4,895,898	△ 3,998,476
基本金取崩額			0	0	3,701	0	2,000
翌年度繰越収支差額			△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056	△ 5,414,111	△ 4,895,898

（参考）

事業活動収入計	4,045,502	3,886,840	3,550,133	3,549,412	3,478,372
事業活動支出計	3,951,921	3,848,580	3,736,515	3,865,226	3,802,075

注）各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて 表示しています。

3 資産、負債等について

○ 貸借対照表の概要

学校法人の「貸借対照表」は、教育活動のために必要な資産の保有状況を表示するものであります。

本法人の貸借対照表の概要は、次のとおりであります。

【資産の部】

（単位：千円）

科　目	2022年度末	2021年度末	2020年度末	2019年度末	2018年度末
固定資産	14,982,073	14,838,072	15,137,348	15,449,322	15,870,980
有形固定資産	14,888,795	14,734,824	15,033,079	15,340,963	15,692,569
土　地	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,009,561
建　物	7,287,751	7,102,788	7,258,956	7,554,201	7,858,139
構築物	425,263	491,319	570,796	522,114	587,346
教育研究用機器備品	429,875	411,890	480,836	555,902	562,471
図　書	631,814	626,330	621,392	614,886	609,305
建設仮勘定	0	155	3,102	0	2,000
特定資産	49,613	54,806	55,962	53,131	124,062
その他の固定資産	43,665	48,441	48,306	55,227	54,348
流動資産	3,078,367	3,140,566	2,835,927	2,704,557	2,707,538
現金預金	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952	2,567,343
資産の部合計	18,060,441	17,978,639	17,973,276	18,153,880	18,578,518

【負債及び純資産の部】

（単位：千円）

科　目	2022年度末	2021年度末	2020年度末	2019年度末	2018年度末
固定負債	468,364	462,208	425,358	422,835	482,965
長期借入金	0	0	0	25,248	55,776
退職給与引当金	468,364	462,208	425,358	397,587	427,189
流動負債	588,494	606,427	676,175	672,921	721,615
短期借入金	0	0	25,248	30,528	30,528
前受金	318,289	339,612	376,638	379,193	372,941
負債の部合計	1,056,858	1,068,636	1,101,534	1,095,756	1,204,581
基本金	23,361,605	22,733,832	22,531,798	22,472,235	22,269,836
繰越収支差額	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056	△ 5,414,111	△ 4,895,898
負債及び純資産の部合計	18,060,441	17,978,639	17,973,276	18,153,880	18,578,518

注）各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて 表示しています。

4 収益事業（指定管理事業）の状況について

2017年10月から、藤枝市が「教育・文化の拠点」、「産学官での人の流れをつくる情報ビジネス創造拠点」として設置した「藤枝市産学官連携推進センター」の指定管理業務を受託し、同施設の運営管理事業を開始しました。

当該事業の貸借対照表及び損益計算書の概要は、次のとおりであります。

【貸借対照表】

（単位：千円）

科　目	2022年度末	2021年度末	2020年度末	2019年度末	2018年度末
流動資産	11,519	11,883	12,106	7,191	9,596
固定資産	0	0	0	0	0
資産合計	11,519	11,883	12,106	7,191	9,596
流動負債	354	285	2,506	0	1,757
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	354	285	2,506	0	1,757
純資産合計	11,165	11,598	9,600	7,191	7,838
元入金	33,488	33,488	33,488	33,488	25,072
利益剰余金	△ 22,322	△ 21,889	△ 23,887	△ 26,296	△ 17,233
負債・純資産合計	11,519	11,883	12,106	7,191	9,596

【損益計算書】

（単位：千円）

科　目	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
営業収益合計	9,534	9,859	11,059	5,336	5,041
営業費用合計	9,966	7,861	8,650	14,400	14,805
営業利益	△ 432	1,997	2,409	△ 9,063	△ 9,764
営業外収益合計	0	0	0	0	0
営業外費用合計	0	0	0	0	0
経常利益	△ 432	1,997	2,409	△ 9,063	△ 9,764
当期純利益	△ 432	1,997	2,409	△ 9,063	△ 9,764

注）各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて 表示しています。

＜参考資料＞

財務比率の推移

（単位：％）

項目	部門	静岡産業大学				静岡学園中・高等学校			合計	純計
		経営学部	情報学部	スポーツ科学部	計	高等学校	中学校	計		
人件費比率 ▼ 人件費／経常収入	2018年度	50.6	68.7	―	56.5	57.4	77.6	61.1	59.6	59.6
	2019年度	52.7	85.6	―	60.5	56.9	68.3	61.3	61.3	61.3
	2020年度	45.2	84.0	―	50.8	60.9	64.4	61.5	55.7	55.7
	2021年度	45.4	76.0	53.4	48.2	58.3	63.1	59.1	53.1	53.1
	2022年度	45.0	164.1	42.2	45.5	58.3	58.0	58.3	50.9	50.9
人件費依存率 ▼ 人件費／学生生徒等納付金	2018年度	61.0	80.9	―	67.6	102.3	162.0	112.0	81.8	81.8
	2019年度	66.0	108.1	―	75.9	103.8	129.5	108.3	87.3	87.3
	2020年度	54.3	99.2	―	60.9	120.6	122.3	120.9	77.8	77.8
	2021年度	57.6	97.6	74.8	61.6	115.3	120.3	116.3	77.1	77.1
	2022年度	56.7	172.6	55.4	57.6	116.3	110.9	115.3	73.6	73.6
教育研究費比率 △ 教育研究経費／経常収入	2018年度	37.1	43.4	―	39.2	36.1	17.3	32.6	36.8	36.8
	2019年度	33.9	43.7	―	36.2	37.7	19.9	34.5	35.5	35.5
	2020年度	42.7	31.7	―	41.1	37.8	20.7	34.7	38.8	38.8
	2021年度	35.0	29.9	61.9	36.7	36.1	21.0	33.5	35.6	35.6
	2022年度	37.1	32.5	47.0	38.5	38.3	25.0	36.0	37.6	37.6
管理経費比率 ▼ 管理経費／経常収入	2018年度	16.5	10.5	―	14.5	5.3	5.3	5.3	13.5	13.5
	2019年度	16.0	10.2	―	14.7	5.1	6.2	5.3	12.6	12.6
	2020年度	12.5	5.6	―	11.5	4.8	5.6	5.0	10.8	10.8
	2021年度	11.8	9.3	31.8	13.1	4.6	5.9	4.8	11.2	11.2
	2022年度	11.4	9.7	21.1	12.7	4.3	6.0	4.6	10.7	10.7
事業活動支出比率 ▼ 事業活動支出／経常収入	2018年度	108.8	132.8	―	116.7	102.7	100.1	102.2	115.3	110.0
	2019年度	106.4	141.1	―	114.6	103.6	94.4	101.9	112.6	109.7
	2020年度	103.8	121.9	―	106.4	108.1	90.7	104.9	108.6	105.6
	2021年度	94.1	115.2	148.3	99.7	102.4	90.1	100.2	102.1	99.9
	2022年度	95.3	230.4	112.1	98.7	103.9	89.2	101.4	101.5	99.4
学生生徒等納付金比率 ◇ 学生生徒等納付金／経常収入	2018年度	82.9	84.9	―	83.6	56.1	47.9	54.6	72.9	72.9
	2019年度	79.9	79.2	―	79.8	54.8	52.7	54.5	70.3	70.3
	2020年度	83.1	84.6	―	83.3	50.5	52.6	50.9	71.5	71.5
	2021年度	78.9	77.9	71.4	78.2	50.5	52.4	50.9	68.8	68.8
	2022年度	79.4	95.1	76.0	79.0	50.2	52.3	50.5	69.2	69.2
補助金比率 △ 補助金／事業活動収入	2018年度	10.1	8.7	―	9.6	37.2	35.5	36.9	18.8	19.8
	2019年度	10.7	9.5	―	10.4	38.1	39.4	38.3	19.9	20.5
	2020年度	11.3	10.3	―	11.1	40.4	41.7	40.6	21.1	21.7
	2021年度	11.5	12.7	10.0	11.4	40.8	41.9	41.0	21.1	21.6
	2022年度	14.7	0.0	16.5	14.9	40.0	45.2	40.9	23.3	23.8

（注）・「項目」欄の △は 高い値が良いもの、▼は 低い値が良いもの、◇は 一概にどちらともいえないもの を示す。
・「純計」は、「合計」から学内振替分を除いた場合の数値。